



全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会 令和6(2024)年度 第40回 全国研究協議大会 東北大会（山形大会）

8月24日(土)、宮内清和PTA会長が、山形県鶴岡市にある「荘銀タウト鶴岡」で開催された大会に参加されました。分科会では『安全・安心な場を創る～もしものときに備えるPTA活動～』のテーマのもと、東海北陸地区の代表として「子供たちの安心・安全な学校生活を支える体制づくり」について発表されました。



宮内会長は災害に対するPTA活動の中で、本校に備えられている食料や簡易トイレなどの備蓄品や5月に行った防災ミニ研修会を紹介し、今後の課題や取組についても具体的に説明されました。

そして最後には「自助から共助へ」として「可能であれば避難所運営に生徒が関わるなど、地域に貢献できる子供に育てほしい」と、本校生徒への願いで締めくくられました。助言者の文部科学省調査官からは「地域の一員として生徒たちが『自分たちは何ができるか』と考えることはとても大切である。」と高い評価を頂きました。発表後も問い合わせが複数あるなど、大きな反響と好評をいただき、充実した発表となりました。(伊東校長)

令和6年度北陸地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会（講演会）開催

将来の生活設計のために 本人・家族が準備していくこと

講師 日本福祉大学 福祉経営学部
教授 綿 祐二
(社会福祉法人睦月会 理事長)

7月3日(水)に伊東校長先生と井上委員長(広報)で、北陸地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会総会並びに講演会に参加して来ました。当日は、講師 綿先生の公聴に大変多くの方々に参加されていました。講演会は、約1時間30分程でしたが、「3年生の我が子を持つ親」(井上)としては、とても良いタイミングで講話を聴けたと感じました。①障害支援区分認定調査、②経済的自立をするには、③障害基礎年金とは、④10年先を考える、⑤経済的シミュレーション、⑥成年後見制度の課題とポイント、⑦家族の気概(腹のくくり方)について勉強する事が出来ました。特に興味を持ったのは、バランスシートを使用した経済的シミュレーションに関する事でした。本人が経済的自立をするには収入と支出の合計がプラスでないと、独立は無理なので将来の生活設計が必要となります。今は良くて将来、「8050問題」中高年となった子供を支えてきた親も高齢化し、収入が減った際に経済的共存とならなければならない事、親亡き後についての後見のポイントなど、今後通るであろう共通課題を多岐にわたって学ぶ事が出来ました。

詳しく知りたい方は、著書も出されているとの事でしたので、ぜひ参考にして下さい。

(井上PTA広報委員長)

ご挨拶

PTA会長 宮内清和

この度、令和6年度PTA会長を務めさせていただくことになりました宮内清和と申します。どうぞ1年間よろしくお願い致します。

日頃より、先生方、及び保護者の皆様方には、PTA活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、ご縁がありPTA役員を引き受けてくださった皆様には心より感謝申し上げます。

さて、はや令和6年度の半分が終わろうとしています。1年生、及びその保護者の皆様方におかれましては、入学時の緊張もほぐれ新たな生活に少しずつ慣れてきたことと思います。

本校校訓の「挑戦 自立 共生」には、生徒一人一人が、周りの人に支援してもらいながら、様々なことに自ら挑戦することで生きる力を高め、他と共生しながら一社会人として、自立してほしいという願いが込められているそうです。PTAとしましても、その願いに応えるべく活動を行っていくことで、自分で考え行動する「真の自立」に結びつけたいと思っております。

体育大会前のPTA親子ボランティア活動の際に開催した防災ミニ講座でのアンケートの中で「非常持ち出し袋をどこに置くか」の問いに、「体育館」・「家族がわかるところに置く」と回答してくれたお子さんがいました。回答の真意は解りませんが、当日、私が説明していなかった「自分が避難することになる体育館に置く」、「非常持ち出し袋を置く場所を家族と情報共有する」といった発想は、自分で考えたという証だと思えます。自分が自宅に居る時に災害が起きるとは限りません。準備した非常持ち出し袋を確実に使用できる置き場として、二人の回答は素晴らしいと感じるとともに、防災士の私も改めて学ばせてもらいました。

PTA活動は、先生方、及び会員の皆様のご協力があって始めて円滑に行われるものです。「できる人ができる時にできる事を」という言葉をモットーに、引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

総務委員長 森 公代

総務委員会では年2回親子ボランティア活動を行います。5月の活動では沢山の方々に参加して頂きありがとうございました。10月予定の活動の方も、よろしくお願い致します。

進路委員長 林 英隆

今年度も進路学習会を企画しています。8月は企業の方の講演会、11月は特定社会保険労務士の方より障害者年金の話について開催をします。皆様是非ご参加ください。

広報委員長 井上雅弘

子供たちの学校生活・行事の様子を皆様楽しく見て頂けるような広報誌を作成できるように努力いたします。今後ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年度PTA活動年間予定表

4月19日(金)	PTA役員会	12月14日(土)	親子ボウリング大会
5月2日(木)	PTA総会・学習参観	2月21日(金)	PTA新旧役員会・学習参観
5月18日(土)	親子ボランティア活動①	3月7日(金)	卒業式
8月24日(土)	PTA進路学習会①		
10月5日(土)	親子ボランティア活動②		
11月23日(土・祝)	PTA進路学習会②		
	PTA専門委員会(総務・進路・広報)		

PTA規約が改正されます。

改正のポイント

第5条(役員)

本会に次の役員を置き、その任期を1年とする。ただし、再任を妨げない。
また、中途交代のあるときの任期は、前任者の残任期間とする。

	旧	新
(1)会 長	1名	
(2)副会長	4名(1名は学校長)	3名(1名は学校長)
(3)書 記	1名	
(4)学年委員	3名(各学年より1名)	
(5)監 事	1名	
(6)専門委員委員長	3名	

令和7年度は副委員長が、2年1名 1年生1名、学校長1名の3人体制に変わります。

令和
7年4月～
適用

～～～～ 5月18日 ～～～～

親子ボランティア活動



今年は例年より気温が高く、とても暑かったですね。大変お疲れ様でした。

当日は、ボランティア活動終了後に宮内PTA会長が講師となり、防災ミニ講座が開催されました。

宮内PTA会長は日頃、災害対策業務に携わり、その知識を生かした地震防災への有効な手段について講義を行っていただきました。各自に配付された用紙を使用して、用意された防災グッズの中から「必要」と思う物を選び、必要な物と使用するシチュエーションの説明を受ける、といった楽しい内容でした。

終了後、学校側の災害発生時に備えてある備蓄品3日分の保管場所も見せて頂く事が出来ました。



宮内会長の防災ミニ講座

用意された防災グッズ

学校4Fの備蓄品保管風景

みんなの元気と笑顔で、空も晴天でしたね！！



白団 団長の林 仁海さんへ インタビュー

団長として白団の1年生～3年生をまとめました。最初は不安しかなかったけど、応援のエールを考えて練習し、本番では、今まで以上の声を全員で出しました。自分は本当に団長になってよかったと思いました。僕の一生忘れることができない思い出となりました。



赤団 団長の栗原 亮太さんへ インタビュー

赤団の団長として皆を引っ張りました。最初は引っ張っていけるか不安でしたが同級生からアドバイスをしてもらったおかげで、できました。1, 2年生にエール交換を教えてあげられて、本番では今まで以上に声が出せて、とてもよいエール交換でした。思い出に残る体育大会でした。



白熱ハイライトシーン



大接戦でしたね。

